

# 胃瘻管理情報提供書

患者情報

ID	氏名	
生年月日	年齢	性別

主病名

#.	#.
----	----

基礎疾患

#.	#.
----	----

身体状況  
必要栄養量

--

胃瘻本体

胃瘻造設病院名					
造設日	年	月	日	最終交換日	年 月 日
メーカー・製品名					
チューブ型／ボタン型			バンパー型／バルーン型		
カテーテル経	Fr.	カテーテル長	cm (ボタン型の場合)		
次回交換予定日	年	月	頃		

投与内容

栄養剤名					
朝：白湯	ml	、	栄養剤	ml (g)	
昼：白湯	ml	、	栄養剤	ml (g)	
夕：白湯	ml	、	栄養剤	ml (g)	
投与熱量	kcal	蛋白質	g	脂質	g 炭水化物 g
水分量	ml				

投与手順

①	度にギャッジアップ
②	白湯を 15～20 分程度で投与
③	30 分以上経過後、白湯約 10ml でフラッシュし、栄養剤を 時間程度かけて投与
④	白湯約10ml でフラッシュ後、必要な薬剤を簡易懸濁法の手順で投与 (簡易懸濁法が不能なものは粉碎したものを懸濁して投与)
⑤	白湯約10ml でフラッシュ後、5～10 倍に希釈した酢水をルート内に充填
⑥	30 分～1 時間程度ギャッジアップを保つ

NST アセスメント内容

--

特記事項

--

記載日

福井県立病院 NST 職種 氏名